

沼田市学校施設長寿命化計画 概要版

■背景

我が国の学校施設は、人口増加に伴う児童生徒数の増加に合わせて昭和 40 年代から 50 年代にかけて多く建設されましたが、現在、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せています。

本市の学校施設も昭和 40 年代から 50 年代に建築された施設が多数あり、築 30 年以上の施設が約 8 割を占めており、老朽化対策が大きな課題となっています。

一方で、少子高齢化による人口減少の時代を迎え、社会保障関係費の増加や税収の落ち込みが予想されており、財政面でも厳しい状況となることが予測されます。

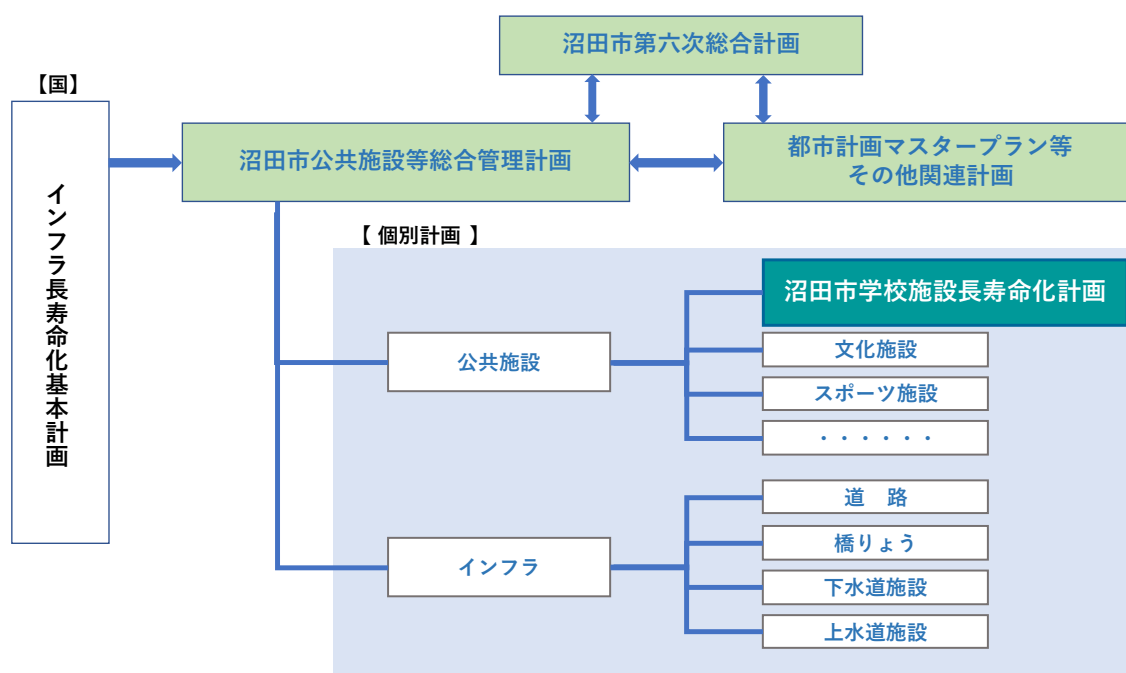
こうした状況は、今後ますます進行するものと考えられ、学校施設に求められている機能や性能を確保するため、効果的・効率的な施設整備が必要となっています。

■目的

「沼田市学校施設長寿命化計画（以下、「本計画」という。）」は、本市の所有する学校施設について、上記の背景を踏まえ、平成 29（2017）年 3 月に策定された「沼田市公共施設等総合管理計画（以下、「管理計画」という。）」の方針に基づき、学校施設の長寿命化を念頭に、適切に改修や建て替えを行い、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び改修・更新費用の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的とします。

■計画の位置づけ

○本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」による個別施設計画であり、本市における公共施設等の管理方針等を定めた管理計画を踏まえ、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月文部科学省）等を参考にして策定します。



■本計画の位置づけ

■ 計画期間

令和 2 (2020) 年度から令和 11 (2029) 年度の 10 年間

○中長期的な視点をもった計画とするため、維持・更新等コストの試算期間は、令和元年(2019)年度を基準年として、基準年の翌年から 40 年間とします。

○本計画は、上位計画等の見直しや社会情勢の変化などの状況に応じて、適宜見直しを行います。

■ 対象施設

○本計画の対象施設は、本市が保有する小学校 11 校、中学校 9 校とします。

○また、本計画における対象建物は、200㎡以下の附属屋等を除いた小学校 37 棟、中学校 37 棟とします。

■ 対象建物一覧

名称	住所	建物数	延床面積 (㎡)	
小学校	1 沼田小学校	沼田市西倉内町746	5棟	6,582
	2 沼田東小学校	沼田市東原新町1801-1	3棟	6,160
	3 沼田北小学校	沼田市高橋場町4898	3棟	7,462
	4 升形小学校	沼田市栄町141	4棟	4,835
	5 利南東小学校	沼田市上久屋町2135	3棟	4,489
	6 池田小学校	沼田市発知新田町533	2棟	3,926
	7 薄根小学校	沼田市善桂寺町32	4棟	5,454
	8 川田小学校	沼田市下川田町540	3棟	4,917
	9 白沢小学校	沼田市白沢町高平94-1	5棟	4,345
	10 利根小学校	沼田市利根追貝93	2棟	2,548
	11 多那小学校	沼田市利根町多那732	3棟	1,922
小学校 計		37棟	52,640	
中学校	1 沼田中学校	沼田市東原新町1801-1	6棟	8,081
	2 沼田南中学校	沼田市戸鹿野町726	3棟	5,921
	3 沼田西中学校	沼田市薄根町3580	5棟	6,458
	4 沼田東中学校	沼田市横塚町1118	4棟	4,020
	5 池田中学校	沼田市発知新田町533	4棟	4,640
	6 薄根中学校	沼田市善桂寺40	6棟	5,884
	7 白沢中学校	沼田市白沢町高平75-1	4棟	5,129
	8 利根中学校	沼田市利根町追貝334	4棟	5,932
	9 多那中学校	沼田市利根町多那732	1棟	365
中学校 計		37棟	46,430	
小・中学校 計		74棟	99,070	

■ 学校施設の目指すべき姿

(1) 安全性・快適性を備えた学校づくり

- ・児童生徒が安全で安心して学校生活を過ごせるよう、予防保全型の維持管理や老朽化対策など、計画的な施設整備を図るとともに、危機管理・安全管理の徹底により、防犯性の高い、衛生的な施設環境を整えます。
- ・多様化する社会情勢の変化に対応するため、教育環境の質的向上を図ります。

(2) 充実した学習活動を実践できる学校づくり

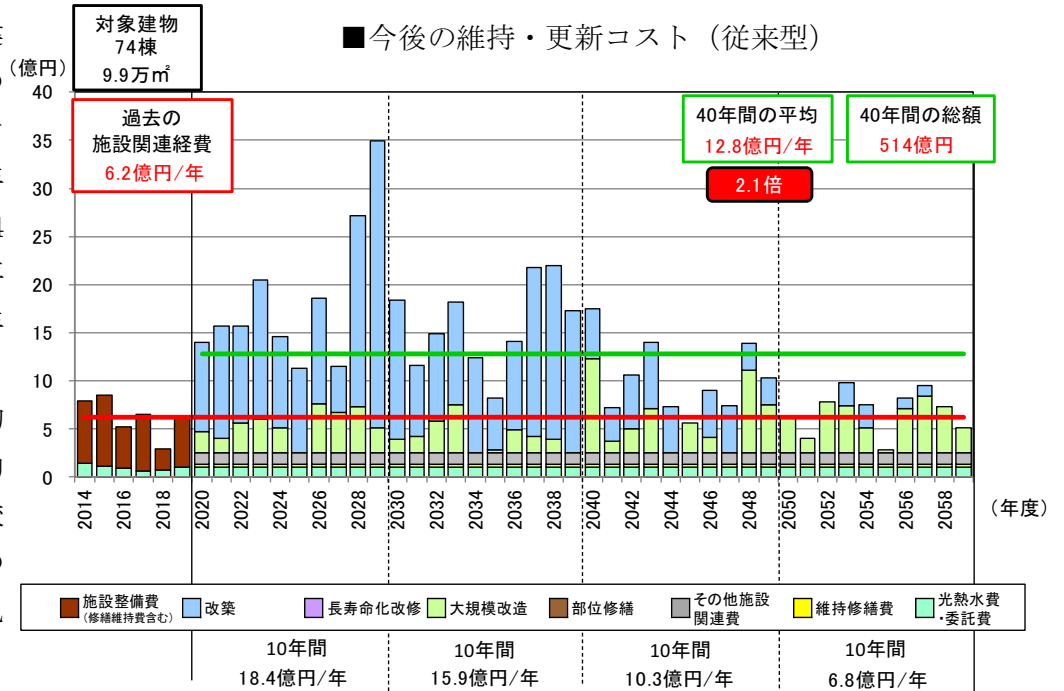
- ・少人数指導やティームティーチング等により個々に応じたきめ細かな指導を行うとともに、学習内容の多様化や情報教育を推進し、学習活動の充実を図ります。
- ・地域の人々と連携し、体験的な活動を取り入れた教育活動や、豊かな自然や文化的資源を生かした郷土学習により、伝統や文化に関する教育の充実を図ります。

(3) 地域と連携した学校施設づくり

- ・地域の人々に開かれた環境づくりや、学校と地域との連携・協働を推進します。
- ・地域の防災拠点、避難所としての役割を担う施設として、災害時の対応に配慮した施設づくりを図ります。

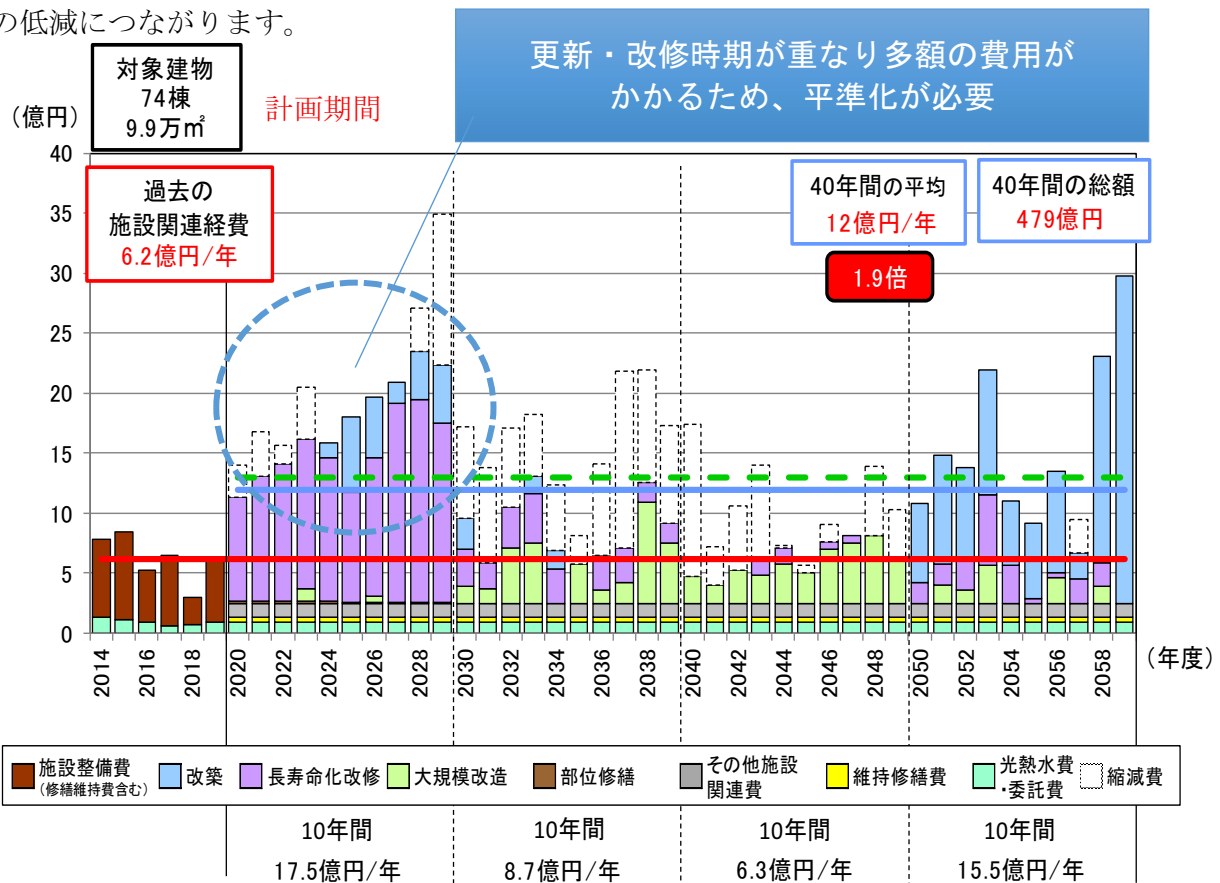
■今後の維持更新コスト

○建築後 50 年で建て替える従来の修繕・改修を続けた場合、今後 40 年間のコストは 514 億円、40 年間の平均は 12.8 億円/年と試算されます。過去 5 年間の平均施設関連経費（約 6.2 億円/年）と比較すると約 2.1 倍の費用がかかると見込まれます。



■長寿命化した場合のコストの見通し

- 長寿命化の考え方により、長寿命化を実施と判定された建物については、長寿命化を前提とし、文部科学省の試算ソフトにより試算した場合、今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で約 479 億円、1 年あたり約 12 億円が必要になると試算されます。
- 改築を中心に実施する従来型に比べ、今後 40 年間の総額で約 35 億円、1 年あたり約 0.8 億円の低減につながります。



■将来の維持・更新コスト（長寿命化型）

■学校施設整備の基本的な方針等

長寿命化計画の基本方針

- 管理計画の基本方針に即し、学校の目指すべき姿や学校を取り巻く課題を踏まえ、学校施設の長寿命化や維持管理に関する基本方針を以下に定めます。

方針1 予防保全型の維持管理

法定点検と日常的な自主点検により、施設の状態を把握し、予防保全型の維持管理を実施し、施設の安全を確保するとともに、施設の長寿命化を図ります。また、施設の状態を把握した上で更新等の時期を調整し、平準化に取り組みます。

方針2 社会情勢の変化に対応した整備

児童生徒の学習の場だけではなく、地域のコミュニティの場や災害時の避難所としても利用されるため、誰もが利用しやすい施設となるようバリアフリーに配慮した整備を行うなど、施設の質的向上を図ります。

方針3 施設規模や配置の適正化

今後、児童生徒数の減少により、余剰教室やスペースが生じた場合は、集会施設、子育て支援施設等との複合化・多機能化による有効活用の方法を検討します。また、児童生徒数の確保が見込めない施設が生じた場合には、施設の統廃合による規模、配置の適正化を図ります。

学校施設の規模・配置計画等の方針

- 法令上、小学校の標準的な規模は、12学級以上18学級以下と設定されています。本市の状況を見ると、12学級未満の小学校が多くあり、将来的にも更なる少子化が見込まれていることを踏まえると、小学校の小規模化は進行していくと予測されます。
- 今後、児童生徒数の増減や分布に注視し、必要に応じ、学校施設の利用用途見直しや民間・地元との連携による管理床面積の縮小を検討するとともに、将来的に児童生徒数の確保が見込めない施設が生じた場合には、地域住民や保護者等の意見を聴きながら、施設の統廃合について検討します。

長寿命化の方針

- 管理計画の基本方針に示される施設の長期活用の方針を踏まえ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築中心であった老朽化対策から長寿命化改修への転換を図ります。
- 長寿命化改修を行う施設については、改修後 30 年以上使用するものとし、構造躯体の健全性向上やライフラインの更新のほか、省エネルギー化やバリアフリー化等を図り、社会的要求への対応を行います。
- 経年による機能・性能の劣化に対しては、大規模改造を実施し、施設の安全性・機能性の確保に努めます。
- 築年数が経過し、耐用年数が迫っている建物や、躯体の劣化状況が激しいなど改修に多額の費用がかかる建物については、長寿命化せずに応急的な保全を行うなどし、標準的な使用年数までの安全性・機能性等の確保に努めます。

予防保全の方針

- 建物をできる限り長く使うため、老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた際に修繕等を行う「事後保全」だけでなく、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を行う「予防保全」を実施していきます。
- 「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させ、施設の不具合による被害のリスクの緩和や、改修等の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げることに努めます。

目標使用年数、改修時期の設定

- 構造躯体の耐用年数は、各種法令等で異なります。本計画では、各種法令等を踏まえて標準的な建物の使用年数（長寿命化を図らない場合の使用年数）、更に長寿命化を図った場合の使用年数の目標（目標使用年数）について、以下のとおり設定します。
- なお、建物の個別の劣化状況や機能劣化への対応状況等に対する費用対効果などを総合的に判断した上で、目標使用年数に満たない建て替えに対応することも可能とします。

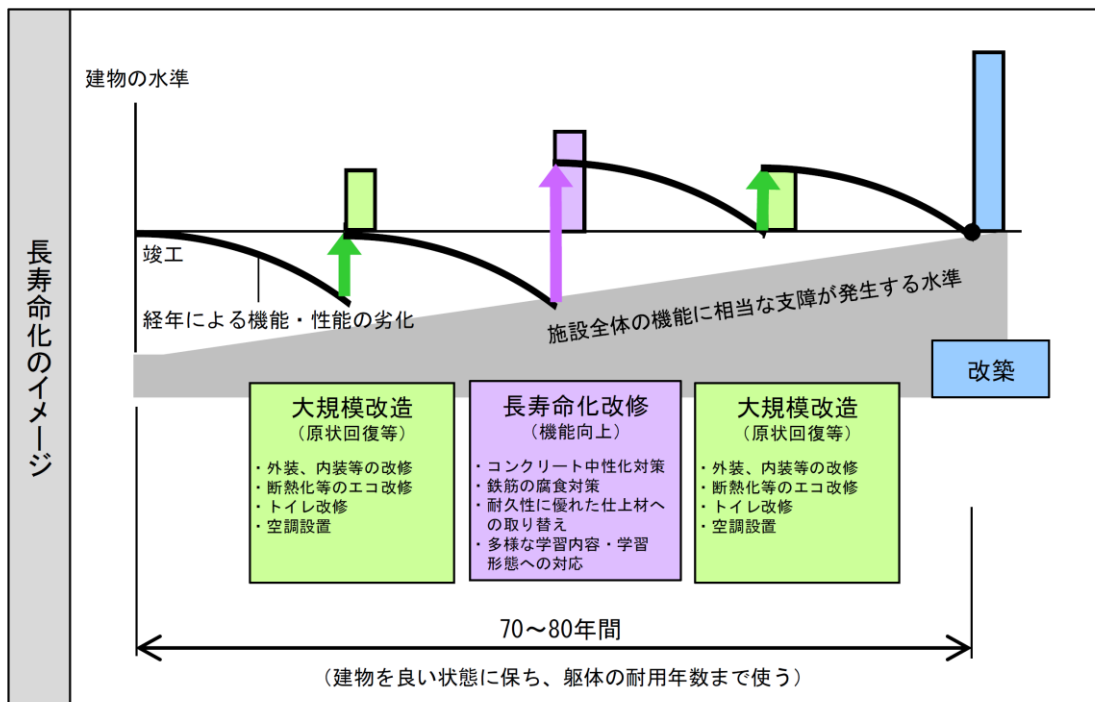
■目標使用年数の設定

建物の種別	目標使用年数
長寿命化した場合の使用年数	80 年
標準的な使用年数	60 年

- 長寿命化する建物については、機能・性能の低下を防ぎ、建物を良い状態に保ちながら、目標使用年数まで使用するため、大規模改造（機能回復）と長寿命化改修（機能向上）の時期を以下のとおり設定します。

■改修時期の設定

大規模改造時期	長寿命化改修時期
おおむね築 20 年、60 年	おおむね築 40 年



■改修のイメージ

■長寿命化の実施計画

改修等の優先度

- 一斉に改修等を実施すると多額の費用がかかるため、建築年、大規模改修の実施状況を踏まえ、建物をグループ分けし、グループごとに改修等の考え方を整理します。
- グループ内での改修等を行う優先度は、劣化状況調査における健全度を参考に、基本的には建築年順に行うものとします。

■グループごとの改修等の考え方

グループ名	対象	改修等の考え方
グループ A	建築後 50 年程度経過し、劣化が進行している建物	長寿命化改修は行わず、部位修繕や大規模改造を必要に応じて行い、改築まで使用する
グループ B	建築後 40 年以上経過している建物	優先的に長寿命化改修を行い、長寿命化を図る
グループ C	建築後 30 年以上経過している建物	長寿命化改修を行い、長寿命化を図る
グループ D	建築後 30 年未満の建物	建築後 20 年、60 年を目処に大規模改造、建築後 40 年を目処に長寿命化改修を行い、計画的な保全を図る

■建物のグループ分け

	健全度											
	～50点				51～70点				71点～			
	施設名	建物名	築年数	健全度	施設名	建物名	築年数	健全度	施設名	建物名	築年数	健全度
グループA	白沢小学校	便所	51年	43点	薄根小学校	教室1	50年	55点				
	多那小学校	管理教室棟	51年	40点	白沢小学校	職員室	52年	65点				
	沼田西中学校	会議室	52年	43点	白沢小学校	多目的室	51年	52点				
	沼田小学校	特別教室棟	46年	26点	白沢小学校	屋内運動場	55年	52点				
				沼田西中学校	普通教室棟	54年	65点					
グループB	沼田北小学校	普通教室棟・特別教室棟	41年	43点	沼田東小学校	屋内運動場	46年	53点	沼田小学校	屋内運動場	44年	81点
	白沢小学校	教室	40年	45点	沼田北小学校	普通教室棟	41年	53点	沼田小学校	普通教室棟1	40年	91点
	白沢中学校	特別教室棟	41年	50点	升形小学校	管理棟	46年	68点	沼田東小学校	教室1	49年	71点
					薄根小学校	教室2	40年	53点	沼田東小学校	教室2	47年	81点
					白沢中学校	屋内運動場	47年	53点	沼田北小学校	屋内運動場	41年	91点
					白沢中学校	普通教室棟	41年	53点	池田小学校	屋内運動場	46年	91点
									川田小学校	教室1	44年	81点
									川田小学校	教室2	43年	91点
									利根小学校	屋内運動場	49年	91点
									沼田西中学校	特別教室棟1	48年	75点
								沼田西中学校	特別教室棟2	48年	93点	
グループC	沼田中学校	特別教室棟	38年	40点	沼田小学校	普通教室棟2	38年	65点	利南東小学校	教室2	30年	75点
	升形小学校	普通教室棟1	39年	45点	利南東小学校	教室1	39年	65点	池田小学校	教室	35年	75点
					利南東小学校	屋内運動場	37年	62点	薄根小学校	屋内運動場	30年	72点
					多那小学校	教室棟	37年	62点	沼田南中学校	普通教室棟	33年	75点
					沼田中学校	屋内運動場	37年	62点	沼田南中学校	屋内運動場	33年	75点
					沼田中学校	格技場	37年	62点	沼田南中学校	格技場	32年	75点
					池田中学校	普通教室棟	36年	65点	沼田東中学校	普通教室棟	31年	75点
									沼田東中学校	特別教室棟	31年	75点
									沼田東中学校	屋内運動場	31年	75点
									沼田東中学校	格技場	31年	75点
									薄根中学校	特別教室棟1	36年	75点
									白沢中学校	柔剣道場	32年	75点
									利根中学校	管理教室棟	32年	75点
									利根中学校	特別教室棟	32年	75点
								利根中学校	食堂	31年	75点	
								利根中学校	屋内運動場	31年	75点	
グループD								沼田小学校	管理棟(中央校舎)	13年	81点	
								升形小学校	屋内運動場	23年	75点	
								升形小学校	普通教室棟2	21年	91点	
								薄根小学校	教室3	21年	75点	
								川田小学校	屋内運動場	28年	75点	
								利根小学校	教室	2年	100点	
								多那小学校	屋内運動場	28年	75点	
								沼田中学校	教室1	7年	100点	
								沼田中学校	教室2	7年	100点	
								沼田中学校	教室3	6年	100点	
								沼田西中学校	屋内運動場	6年	93点	
								池田中学校	特別教室棟	27年	75点	
								池田中学校	屋内運動場	23年	75点	
								池田中学校	格技場	23年	75点	
							薄根中学校	特別教室棟2	26年	75点		
							薄根中学校	管理棟	26年	75点		
							薄根中学校	普通教室棟	26年	75点		
							薄根中学校	屋内運動場	16年	91点		
							薄根中学校	柔剣道場	4年	100点		
							多那中学校	教室棟	9年	100点		

今後10年間の整備費用の見通し

○経過年に応じた建物のグループ分けの結果を踏まえ、各年の総事業費の平準化を図った今後10年間の整備費用の見通しを整理します。

■今後10年間の整備費用の見通し (百万円)

		2020～2024年	2025～2029年
施設整備費	改築事業(グループA)	-	1,005
	長寿命化改修事業(グループB,C)	1,132	695
	大規模改造事業(老朽)	-	-
	部位修繕	76	-
その他施設整備費		585	585
維持補修費		182	182
光熱水費・委託費		488	488
合計		2,463	2,955

■長寿命化計画の継続的運用

情報基盤の整備と活用

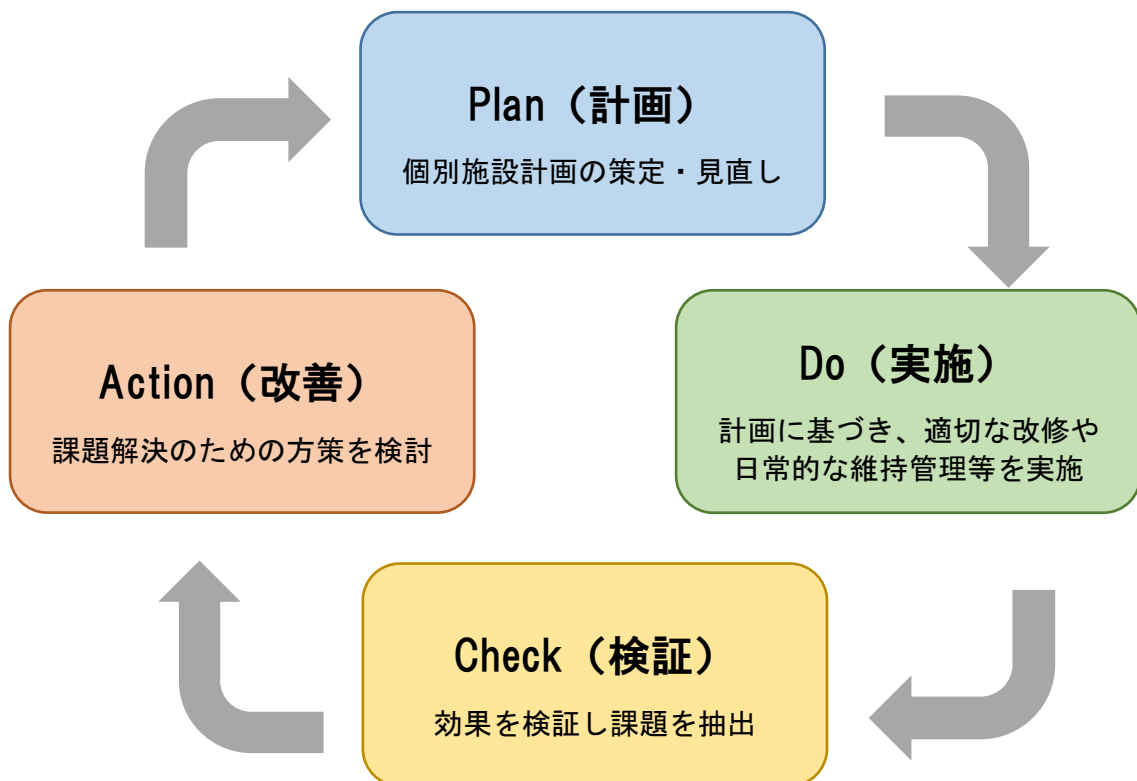
○学校施設の基本情報、維持管理費等の管理費や劣化状況調査、修繕履歴等を一元管理することで、計画的かつ効率的な管理を推進します。

推進体制等の整備

○関係各課が連携し、情報共有を行いながら、全庁的な体制で本計画のマネジメントの対応を図っていきます。また、施設の維持管理については、各施設の職員による劣化状況調査や法定点検により、不具合の早期発見と修繕対応を図ります。

フォローアップ

○計画の進捗状況を把握・評価し、状況に応じて適切に改善を行います。そのため、PDCAサイクルの考え方に基づいて計画の推進に取り組みます。特に、計画の見直しに際しては、長寿命化の実施状況、老朽化の状況の評価し、検討を行います。



■PDCA サイクルに基づく計画のフォローアップ

沼田市教育委員会事務局 教育部 教育総務課 令和2年3月
〒378-8501 群馬県沼田市下之町888番地 Tel 0278-23-2111 Fax 0278-23-1401